

TUTORIAL



© Copyright 2000–2003 Sonic Solutions. All rights reserved.

ReelDVD チュートリアル — Sonic Part Number 800182 Rev B (03/03)

本マニュアルおよびマニュアルに記載されているソフトウェアは、ライセンス許諾のもとに提供されており、使用許諾書の条件を遵守することで使用またはコピーできます。本マニュアルおよび記載されているソフトウェアは、ライセンス許諾のもとに作成されており、使用許諾書のもとでのみ使用またはコピーできます。本マニュアルの記載事項は、情報提供を目的として作成されたものであり、通知なしに変更されることがあり、ソニック・ソリューションズ（以下「ソニック」という）は記載事項に関して何ら保証するものではありません。ソニックでは、本マニュアルの記載事項の誤りまたは不正確性に対して何らの責任または義務を負いません。

使用許諾書によって許可されている場合を除いて、ソニックの書面による事前の許可なく、本マニュアルのいかなる部分も、電子的、機械的、記録またはその他のような形式または手段によっても複製、取得可能なシステムへの保存または転送することはできません。

ソニックは、市場性および特定目的の適合性の暗示的な保証を含みこれに限定されることなく、明示的または黙示的な保証は一切していません。ソニックは弊社製品の適格性、正確性、信頼性、一般性、その他について、この製品の使用または使用によってもたらされる結果に関する保証や告知は一切していません。この製品のもたらす結果およびパフォーマンスに関する危険性は、すべてユーザーが負うものとし、一部の州では間接的あるいは偶発的な損害に対しての責任の例外または有限が認められていないため、上記の制限が適用されない場合もあります。

この製品を使用した結果、または使用不可能な結果生じた間接的、偶発的、副次的な損害（営利損失、業務中断、業務情報の喪失などの損害を含める）に関して、事前に損害の可能性が警告されていた場合にも一切責任を負いません。一部の州では間接的あるいは偶発的な損害に対しての責任の例外または有限が認められていないため、上記の制限が適用されない場合もあります。

Sonic, the Sonic ロゴ, sonic.com, AutoCadence, AutoDVD, cDVD, ConstantQ, DVD Presenter, DVD Producer, DVD Ready, DVD Studio, Edit-on-DVD, First in DVD, hDVD, OpenDVD, PrePlay, SonicCare, Sonic Cinema, The Business of DVD, The Easiest Way to Publish on DVD, The Easiest Way to Record on DVD, The Smartest Way to Publish on DVD, および Where DVD Meets the Internet は、Sonic Solutions の商標です。

AuthorScript, CinePlayer, eDVD, DVD Creator, DVDit!, MyDVD, OneClick DVD, ReelDVD, Scenarist, および Sonic Solutions は Sonic Solutions の登録商標です。

ReelDVD は NeoAccess および NeoShare: © Copyright 1992–1996 NeoLogic Systems, Inc. を使用して開発されました。本製品に含まれている NeoAccess および NeoShare ソフトウェアは NeoLogic Systems, Inc. に帰属しており、ソニックのソフトウェアである Scenarist, ReelDVD と共に使用する場合に限り配布するためにソニックにライセンスされています。NeoLogic Systems, Inc. は、市場性および特定目的の適合性の暗示的な保証を含みこれに限定されることなく、本製品に関して明示的または黙示的な保証は一切していません。

Dolby Digital は Dolby Laboratories, Inc. の商標です。Dolby Laboratories, Inc. は、Dolby Digital でエンコードされたサウンドトラックを識別するために Dolby Digital の商標を使用するように推奨しています。これは視聴者にサウンドトラックのフォーマットを通知するための効果的な方法であり、標準のロゴを使用することによって市場における認知を広めることもできます。ただし、一般的な他の商標と同様に Dolby Digital のロゴを許可なく使用することはできません。Dolby Laboratories, Inc. は、Dolby の商標を使用する企業に対して標準的な商標ライセンス契約を提供しています。この契約は、制作されるプログラムを所有する企業によって署名する必要があります。外部の顧客に対してオーディオ制作またはエンコーディングサービスを提供するレコーディングスタジオやプロダクション施設は、商標ライセンス契約は不要です。Dolby の商標ライセンス契約の詳細については、Dolby Laboratories Licensing Corporation にお問い合わせください。Dolby Digital の商標の使用およびオーディオフォーマットのマーキングの説明および商標ライセンス情報については、Dolby Laboratories の Web ページ (<http://www.dolby.com>) をご覧ください。

Microsoft, Microsoft Windows XP, ME, 2000, 98, 95, Internet Explorer および Microsoft ロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Apple, Apple ロゴ, Finder, Macintosh, Power Macintosh および QuickTime は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

Photoshop は、Adobe Systems Inc. の登録商標です。

TARGA は、Pinnacle Systems, Inc. の商標です。

その他の会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

企画、作成 :Sonic Solutions, 101 Rowland Way, Novato, CA 94945, USA

ソニック・ソリューションズ東京支社

目次

1	はじめに	
	プロジェクトプランニング	2
	基本的なチュートリアルの手順.....	4
2	アセットのインポート	
	アセットファイルの準備	6
	プロジェクト設定.....	7
	ビデオファイルのインポート.....	8
	静止画像のインポート	9
	スライドショーのインポート	10
	静止画メニューのインポート	11
	オーディオファイルのインポート	12
	サブピクチャのインポート	13
	サブタイトルのインポート	14
3	オーサリングとナビゲーション	
	作業領域のレイアウト	16
	チャプタの区切りの追加	16
	Auto Play リンク、Title リンク、Menu リンクの定義	18
	Next リンクと Return リンクの定義.....	19

メニューボタンの作成	21
Main Menu にボタンを追加	22
Chapter Menu にボタンを追加.....	25
DVD Credits メニューのボタンの定義.....	29
完成したボタンリンク	31
4 テストと出力	
Simulation モードの使用.....	34
disc image ファイルの書込み.....	35
Sonic CinePlayer を使用してプロジェクトをテスト	36
ディスクまたはテープにプロジェクトを書き込む.....	37
CD-R または DVD-R への書込み	37
DLT テープへの書込み.....	39
まとめ.....	40

1 はじめに

『ReelDVD チュートリアル』は、完璧な DVD-Video ディスクの作成するための手順をひとつずつ解説する DVD オーサリングのガイドブックです。本チュートリアルに必要な時間は約 2 時間で、ReelDVD のほとんどの機能をご使用いただくことができます。

チュートリアルを使用している時により詳細な解説をご覧になりたい場合には、『ReelDVD ユーザーガイド』またはオンラインヘルプを参照してください。本チュートリアルでは、これらのドキュメントの参照先の章をご案内しています。本チュートリアルを印刷する場合には、ReelDVD チュートリアルディスクに入っている PDF ファイルをご利用ください。

本章の構成は以下のとおりです。

- 2 ページの「プロジェクトプランニング」
- 4 ページの「基本的なチュートリアルの手順」

プロジェクトプランニング

これから作成するプロジェクト「Facepainting」は、本編のビデオ、スライドショー、いくつかの動画メニューや静止画メニューで構成されます。再生は、「Main Menu」に直接ジャンプする短い「Main Intro」シーケンスで開始します。「Main Menu」は、以下にリンクする4つのメニューボタンを含む10秒間のビデオループです。

- 「Main Movie」は3つのチャプタ、オーディオおよびサブタイトルが付いたビデオ(2分30秒)です。
- 「Chapter Menu」は「Main Movie」のチャプタにリンクする3つのボタンと「Main Menu」に戻るリンクが設定されたひとつのボタンが付いた10秒間のビデオループです。
- 「Slide Show」は4つの画像で構成される40秒のスライドショーです。
- 「DVD Credits」は「Main Menu」に戻るリンクが設定されたひとつのボタンが付いた静止画メニューです。

本チュートリアルプロジェクトのプロジェクトフローを図1に示します。この図でグレーの項目はボタンの付いたメニューを表し、白い項目はリニアなシーケンス（ビデオまたはスライドショー）を表しています。

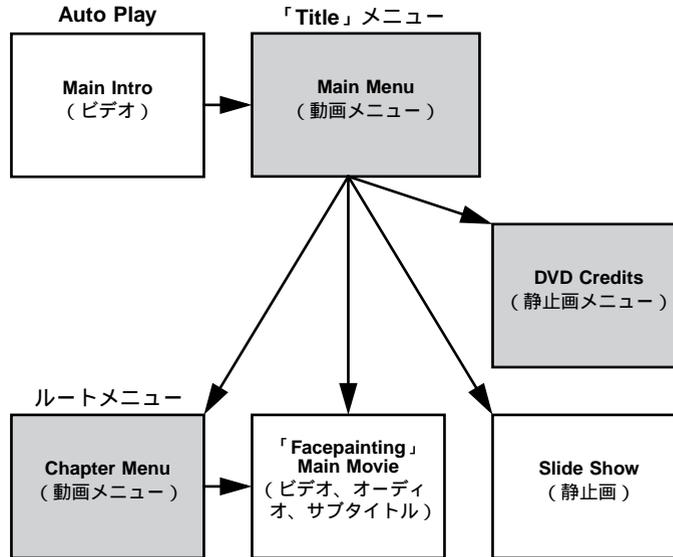


図1: プロジェクトプランニングのフローチャート

リニアなシーケンスは、再生が完了すると「Main Menu」に戻るようオーサリングします。さらに、リモートコントロールの「RETURN」(戻る)キーを押すと、すべてのエレメント(「Main Intro」を除く)は「Main Intro」に戻るよう設定します。「Main Menu」は「Title」メニューとして機能するので、リモートコントロールの「TITLE」(タイトル)キーに関連付けます。「Chapter Menu」はルートメニューとして機能するので、リモートコントロールの「MENU」(メニュー)キーに関連付けます。

プロジェクトプランニングの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第5章「プロジェクトプランニングと準備」を参照してください。

基本的なチュートリアルの手順

『ReelDVD チュートリアル』の基本手順は以下のとおりです。

- 1 チュートリアルのアセットファイルを準備します。
- 2 ReelDVD を起動して、プロジェクト設定を行います。
- 3 チュートリアルのアセット（ビデオファイル、静止画像、オーディオファイル、サブピクチャ、サブタイトルを含む）をインポートします。
- 4 チャプタの区切りを追加する、リンクを定義する、メニューボタンを作成することによって、プロジェクトのナビゲーションを作成します。
- 5 ReelDVD の「Simulation」モードと Sonic CinePlayer を使用してプロジェクトをテストします。
- 6 CD-R、DVD-R、または DLT テープにプロジェクトを出力します。

これらの手順は以降の章で詳細に説明します。

2 アセットのインポート

本章では、チュートリアルのアセットの準備、プロジェクト設定、チュートリアルのアセットのインポートを実行します。本章の構成は次のとおりです。

- 6ページの「アセットファイルの準備」
- 7ページの「プロジェクト設定」
- 8ページの「ビデオファイルのインポート」
- 9ページの「静止画像のインポート」
- 12ページの「オーディオファイルのインポート」
- 13ページの「サブピクチャのインポート」
- 14ページの「サブタイトルのインポート」

アセットファイルの準備

ReelDVD を起動する前に、チュートリアルのアセット (ReelDVD チュートリアルディスクに入っている) をローカルのハードディスクにコピーして読取り専用の属性を変更する必要があります。さらに、サブタイトルスクリプトファイルを編集して、サブタイトル画像の新しい場所を認識する必要があります。

ReelDVD チュートリアルのアセットファイルを準備するには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD チュートリアルディスクを挿入して、「ReelDVD Tutorial Assets」フォルダをローカルのハードディスクにドラッグ・アンド・ドロップします。ハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください (最低 200 MB)。
- 2 コピーしたアセットの読取り専用の属性を変更します。
 - コピーした「ReelDVD Tutorial Assets」フォルダをマウスの右ボタンでクリックして、ポップアップメニューから「プロパティ」を選択します。「プロパティ」ウィンドウが開きます。
 - 属性で「読み取り専用」の選択を解除して「OK」をクリックします。
 - 「属性変更の確認」ウィンドウが表示したら、「このフォルダ、およびサブタイトルフォルダとファイルに変更を適用する」を選択して「OK」をクリックします。
- 3 サブタイトルスクリプトファイルを編集して、参照先のディレクトリを更新します。
 - サブタイトルスクリプトファイルを指定します (ReelDVD Tutorial Assets\Subtitles\04_Subtitle_Script.sst)。
 - スクリプトファイルをマウスの右ボタンでクリックして、ポップアップメニューから「Open With」を選択します。プログラムのリストから、「メモ帳」を選択して「OK」をクリックします。
 - フォルダの新しい場所がリストされるように以下のディレクトリ行を編集します。

Directory C:\ReelDVD Tutorial Assets\Subtitles\

ReelDVD はこのディレクトリを使用して、サブタイトルストリームを構成するサブピクチャ画像を見つける場所を判断します。不正なパスが入力されると、ReelDVD はサブタイトルをインポートできません。

- 「File」>「Save」を選択して変更を保存します。「メモ帳」を閉じます。

これで次のセクションに進む準備が完了したので、プロジェクトの作成を開始しましょう。

プロジェクト設定

チュートリアルのアセットをインポートする前に、最初にプロジェクト設定を行います。

ReelDVD を起動してプロジェクト設定を行うには、次の手順に従ってください。

- 1 Windows の「スタート」ボタンから「プログラム」>「Sonic」>「ReelDVD」>「Sonic ReelDVD」を選択します。
- 2 「Edit」>「Project Settings」を選択します。
- 3 「Project」タブをクリックして以下の設定を入力します。

Disc Name (ディスク名)	FACEPAINTING
TV System (テレビの方式)	NTSC (29.97 fps)
Timecode Format (タイムコードのフォーマット)	Non-drop Frame
Video Format (ビデオのフォーマット)	MPEG-2
Aspect Ratio (アスペクト比)	Standard - 4:3
Size (画像サイズ)	720x 480 - Full D1
Audio Encoding Type (使用できる場合には)	As is
Image Encoding Rate (画像のエンコーディングレート)	8.0 Mbps

「Project」タブの設定は、プロジェクト名の指定だけでなく、インポートする時に ReelDVD がアセットをどのように処理するのかを決定します。

4 「Languages」タブをクリックして以下の設定を入力します。

Audio Languages (オーディオの言語) Stream #1	English
Subtitle Languages (サブタイトルの言語) Stream #1	English
Simulation Defaults (シミュレーションのデフォルト) Audio	English
Simulation Defaults (シミュレーションのデフォルト) Subtitle	English

「Languages」タブは、デフォルトの言語コードを定義してオーディオストリームおよびサブタイトルストリームと関連付けるとともに、「Simulation」モードで使用する言語のデフォルトを設定します (詳細は 34 ページの「Simulation モードの使用」を参照)。

5 「OK」をクリックしてプロジェクト設定を保存します。

プロジェクト設定の詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第4章「メニューとダイアログ」を参照してください。

ビデオファイルのインポート

DVD-Video ディスクのコンテンツは、大部分はビデオストリームによって決定します (静止画像およびスライドショーも含む)。つまり、ビデオや静止画像がなければオーディオを再生することはできません。したがって、チュートリアルプロジェクトを作成するための最初の手順は、「Main Intro」、「Main Menu」、「Chapter Menu」(いずれも動画メニュー) および「Main Movie」のビデオコンテンツをインポートすることです。

ビデオファイルをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD の「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets」ディレクトリを指定します。

- 3 ビデオファイルのみを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「Video Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 「Explorer」ウィンドウで 4 つのビデオファイル（以下にリスト）を選択して、ストーリーボード領域にドラッグ・アンド・ドロップします。

01_Main_Intro.mpv
02_Main_Menu.mpv
03_Chapter_Menu.mpv
04_Main_Movie.mpv

ビデオファイルがエンコードされて、新しいトラックが各ファイルごとに作成されます。ストーリーボード領域に最初にドラッグ・アンド・ドロップしたビデオファイルが自動的に「Auto Play Track」に指定され、「Auto Play」アイコンにリンクされます。

ビデオストリームの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 3 章「ReelDVD の作業領域」を参照してください。

静止画像のインポート

チュートリアルプロジェクトは「Slide Show」および「DVD Credits」のメニューに静止画像を使用します。本節の構成は次のとおりです。

- 10 ページの「スライドショーのインポート」
- 11 ページの「静止画メニューのインポート」

スライドショーのインポート

「Slide Show」は4つの静止画像で構成されます。各画像はデフォルトで10秒間表示するように設定されます。「Slide Show」の最初の静止画像をインポートすると、「Slide Show」トラックが作成されます。その後で、「Track」ウィンドウにドラッグ・アンド・ドロップすることによって、残りのスライドの画像をインポートできます。

スライドショーをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVDの「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets」ディレクトリを指定します。
- 3 画像ファイルのみを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「Image Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 最初のスライド画像（05_Slide_A.bmp）をストーリーボード領域の空きスペースにドラッグ・アンド・ドロップします。指示が表示されたら、「Slide Show」を選択して「OK」をクリックします。

画像ファイルがエンコードされて、ストーリーボード領域に「Slide Show」トラックが作成され自動的に選択された状態になります。スライド画像は10秒のデフォルトの表示時間が指定されます。このプロジェクトではこの設定を使用します。

- 5 「Track」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Track Window」を選択します。
- 6 選択しない場合には、ストーリーボード領域で「Slide Show」トラックを選択すると、「Track」ウィンドウに表示されます。
- 7 「Explorer」ウィンドウで残りのスライド画像（以下にリスト）を選択して、「Track」ウィンドウにドラッグして最初のスライド画像の右側にドロップします。

05_Slide_B.bmp
05_Slide_C.bmp
05_Slide_D.bmp

スライド画像がエンコードされてビデオストリームに挿入されます。

スライドショーの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第3章「ReelDVD の作業領域」を参照してください。

静止画メニューのインポート

チュートリアルプロジェクトには、「DVD Credits」をリストする静止画メニューが含まれます。このメニューには「Main Menu」に戻るひとつのボタンも含まれます。オーサリングプロセスを簡略化するには、静止画メニューはレイヤー化された Photoshop ファイルとして作成しておきます。そうすることによって、ReelDVD はメニューのサブピクチャマスクとボタンの強調表示を自動的に作成します。

静止画メニューをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD の「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets」ディレクトリを指定します。
- 3 画像ファイルのみを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「Image Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 Photoshop ファイル (06_DVD_Credits.psd) をストーリーボード領域の空きスペースにドラッグ・アンド・ドロップします。指示が表示されたら、「Still Menu with Sub-picture」(サブピクチャ付きの静止画メニュー)を選択して「OK」をクリックします。
- 5 「Button 1」が有効になった状態で「Select Layers」ダイアログに指示が表示したら、「OK」をクリックします。

画像がエンコードされて、サブピクチャとボタンのホットスポットが定義されて「Still Menu」トラックが作成されます。「Still Menu」に対してサブピクチャオーバーレイファイル（06_DVD_Credits_sp.bmp）が作成され、「ReelDVD Tutorial Assets」ディレクトリに書き込まれます。

レイヤー化された Photoshop ファイルの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第4章「メニューとダイアログ」を参照してください。

オーディオファイルのインポート

チュートリアルプロジェクトには、「Main Movie」と「Slide Show」の両方のオーディオが含まれます。

オーディオファイルをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD の「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets」ディレクトリを指定します。
- 3 オーディオファイルのみを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「Audio Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 「Explorer」ウィンドウから「04_Main_Movie.ac3」ファイルをドラッグして、ストーリーボード領域の「04_Main_Movie.mpv」トラックにドロップします。「Track」ウィンドウにターゲットのトラックが選択されて新しいオーディオストリームが付いて表示されます。
- 5 「Explorer」ウィンドウから「05_Slide_Show.ac3」ファイルをドラッグして、ストーリーボード領域の「05_Slide_A.bmp」トラックにドロップします。「Track」ウィンドウにターゲットのトラックが選択されて新しいオーディオストリームが付いて表示されます。

オーディオストリームの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 3 章「ReelDVD の作業領域」を参照してください。

サブピクチャのインポート

「Main Menu」と「Chapter Menu」がビデオから作成されるので、ボタンのホットスポットを定義するには各メニューごとに個別のサブピクチャ画像が必要です。

サブピクチャをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD の「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets\Subpictures」ディレクトリを指定します。
- 3 すべてのファイルを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「All Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 「Explorer」ウィンドウから「02_Main_Menu_Sub.bmp」ファイルをドラッグして、ストーリーボード領域の「02_Main_Menu.mpv」トラックにドロップします。ドラッグされた画像がメニュータイプのサブピクチャとして「Track」ウィンドウに表示します。
- 5 「Explorer」ウィンドウから「03_Chapter_Menu_Sub.bmp」ファイルをドラッグして、ストーリーボード領域の「03_Chapter_Menu.mpv」トラックにドロップします。ドラッグされた画像がメニュータイプのサブピクチャとして「Track」ウィンドウに表示します。

サブピクチャストリームの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 3 章「ReelDVD の作業領域」を参照してください。

サブタイトルのインポート

最後にインポートするアセットは、「Main Movie」が再生中に表示されるサブタイトルです。これらのサブタイトルは Scenarist のサブタイトルスクリプトフォーマットで準備されています。これは、各サブタイトルが配置されるタイムラインの場所を定義するスクリプトファイルの付いたサブピクチャ画像の集合です。

サブタイトルをインポートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD の「Explorer」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Explorer Window」を選択します。
- 2 「Explorer」ウィンドウで、ローカルのハードディスクにある「ReelDVD Tutorial Assets\Subtitles」ディレクトリを指定します。
- 3 すべてのファイルを表示するには、「Explorer」ウィンドウの右上にある「All Files」フィルタボタンをクリックします。



- 4 「Explorer」ウィンドウからサブタイトルスクリプトファイル (04_Subtitle_Script.sst) をドラッグして、ストーリーボード領域の「04_Main_Movie.mpv」トラックにドロップします。「Track」ウィンドウにターゲットのトラックが選択されて新しいサブタイトルストリームが付いて表示されます。
- 5 「File」>「Save」を選択します。「Save As」ダイアログが開きます。
- 6 プロジェクト名を入力して、プロジェクトのディレクトリを指定し、「Save」をクリックします。

注：「Simulation」モードでプロジェクトを再生しようとするまでインポートされたサブタイトル画像はエンコードされません。

サブタイトルとサブピクチャとの関係の詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 5 章「プロジェクトプランニングと準備」を参照してください。

3 オーサリングとナビゲーション

本章は、チュートリアルプロジェクトのナビゲーションのオーサリング方法について説明します。本章の構成は次のとおりです。

- 16 ページの「作業領域のレイアウト」
- 16 ページの「チャプタの区切りの追加」
- 18 ページの「Auto Play リンク、Title リンク、Menu リンクの定義」
- 19 ページの「Next リンクと Return リンクの定義」
- 21 ページの「メニューボタンの作成」

作業領域のレイアウト

アセットの準備とインポートが終了したら、実際のプロジェクトフローを示すようにストーリーボード領域でアイコンを整理します。図 2 に示すように、チュートリアルプロジェクトのアイコンを整理します。



図 2: ストーリーボード領域のチュートリアルプロジェクトのレイアウト

チャプタの区切りの追加

オーサリング手順は事実上任意の手順で実行できます。ただし、通常はビデオコンテンツにチャプタの区切りを定義することからオーサリングを開始するのが最善の手順です。

チャプタの区切りを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Preview Window」を選択します。

- 2 「Track」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Track Window」を選択します。
- 3 ストーリーボード領域で「04_Main_Movie.mpv」トラックを選択すると、「Track」ウィンドウに表示されます。
- 4 「Track」ウィンドウで、「Preview」ウィンドウの「Video Time」が 00:01:04:00 になるまで緑色のタイムラインカーソルをドラッグします。



タイムラインカーソルをドラッグすると、「Preview」ウィンドウが自動的に更新して、カーソル位置のタイムコードやビデオを表示します。タイムラインカーソルをより正確にドラッグしたい場合には、「Track」ウィンドウのズームレベルを変更します。

- 5 「Track」ウィンドウの左下にある「New Chapter」ボタンをクリックします。チャプタの区切りが挿入されて、黄色のマーカーがタイムラインの上に表示してその位置を示します。



DVD仕様では、チャプタの区切りはGOP (Groups of Pictures) と GOP 間の境界に配置することが求められています。この境界は毎秒約 2 回発生します。ReelDVD は、最も近い GOP の境界にチャプタの区切りを自動的に配置します。

また、チャプタの区切りはサブタイトル間に配置される必要があります。チャプタの区切りの配置を確認するには、「Track」ウィンドウをズームインして各チャプタの区切りの破線がサブタイトルのブロックとオーバーラップしないことを確認します。

- 6 黄色のチャプタマーカーの右側にあるライトグレーのセグメントをクリックして、新しいチャプタを選択します。「Chapter Time」フィールドと「Chapter Name」フィールドが「Track」ウィンドウの下側に表示します。
- 7 必要な場合には、正確に 00:01:04:20 になるように「Chapter Time」フィールドを変更します。
- 8 前述の手順を繰り返して 00:01:58:00 に追加のチャプタの区切りを追加します。

9 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

チャプタの区切りの作成に関する詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第6章「アセットのインポートとオーサリング」を参照してください。

Auto Play リンク、Title リンク、Menu リンクの定義

チュートリアルプロジェクトにトラックを追加してチャプタを定義したら、Auto Play、Title、Menu の各リンクの設定を開始します。

Auto Play Track は、ディスクを挿入した時に再生するメニュー、ムービー、またはスライドショーです。Title リンクと Menu リンクは、リモートコントロールの「TITLE」(タイトル)キーと「MENU」(メニュー)キーを押した時に再生がジャンプする場所を定義します。

Auto Play リンク、Title リンク、Menu リンクを設定するには、次の手順に従ってください。

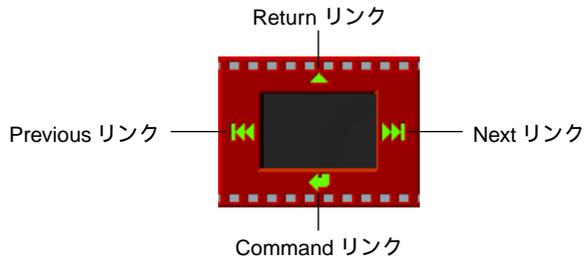
- 1 「01_Main_Intro.mpv」が「Auto Play」に設定されていない場合には、ストーリーボード領域で「Auto Play」アイコンの下側の部分から「01_Main_Intro.mpv」トラックにドラッグします。
- 2 「Title」アイコンの下側の部分から「02_Main_Menu.mpv」トラックにドラッグすることによって、「02_Main_Menu.mpv」を「Title」メニューに指定します。
- 3 「Menu」アイコンの下側の部分から「03_Chapter_Menu.mpv」トラックにドラッグすることによって、「03_Chapter_Menu.mpv」をルートメニューに指定します。
- 4 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

Auto Play リンク、Title リンク、および Menu リンクを定義すると、ストーリーボード領域で黄色の矢印がリンク先のトラックを指し示します。

Auto Play リンク、Title リンク、および Menu リンクに関する詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第6章「アセットのインポートとオーサリング」を参照してください。

Next リンクと Return リンクの定義

Next リンク、Previous リンク、Return リンクは、リモートコントロールで「SKIP FORWARD」(スキップして進む)、「SKIP BACKWARD」(スキップして戻る)および「RETURN」(戻る)キーを押した時に再生を処理する方法を定義します。Next リンクは、トラックが再生を終了する時のジャンプ先を DVD プレーヤーに指示します。



「Track」アイコンのリンクの記号

チュートリアルプロジェクトは、Next リンクと Return リンクを含みますが、Previous リンクは含みません。

Next リンクと Return リンクを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 ストーリーボード領域で、Next リンクの記号 (アイコンの右側にある) からリンク先のトラックにドラッグして各トラックの Next リンクを設定します。

ソーストラック	Next リンクのトラック (リンク先)
01_Main_Intro.mpv	02_Main_Menu.mpv
02_Main_Menu.mpv	02_Main_Menu.mpv
03_Chapter_Menu.mpv	03_Chapter_Menu.mpv
04_Main_Movie.mpv	02_Main_Menu.mpv
05_Slide_A.bmp	02_Main_Menu.mpv
06_DVD_Credits.psd	06_DVD_Credits.psd

「Main Menu」と「Chapter Menu」のNextリンクは自らをリンク先に指定しているので、無限にループします(メニューボタンをクリックするかリモートコントロールボタンを押すまで)。

- Returnリンクの記号(アイコンの上部にある)からリンク先のトラックにドラッグして各トラックのReturnリンクを設定します。

ソーストラック	Returnリンクのトラック(リンク先)
01_Main_Intro.mpv	- Returnリンクなし -
02_Main_Menu.mpv	- Returnリンクなし -
03_Chapter_Menu.mpv	02_Main_Menu.mpv
04_Main_Movie.mpv	02_Main_Menu.mpv
05_Slide_A.bmp	02_Main_Menu.mpv
06_DVD_Credits.psd	02_Main_Menu.mpv

「Return」リンクを使用すると、リモートコントロールの「RETURN」(戻る)キーを押すだけで、任意の場所から視聴者は簡単にMain Menuに戻ることができます。

- 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

前述の手順が完了すると、ストーリーボード領域は図3のようになります。

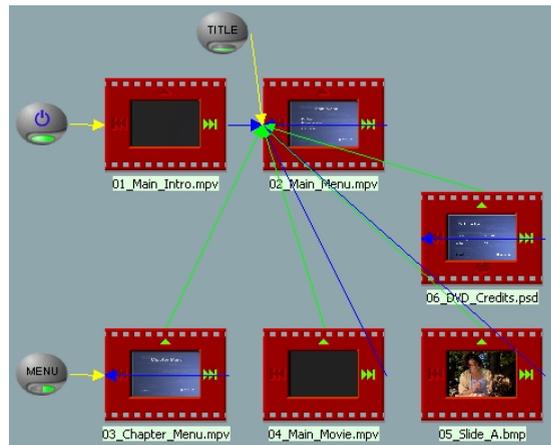


図 3: ストーリーボード領域の Next、Return、Menu リンク

Next、Return、Menu リンクの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第3章「ReelDVD の作業領域」を参照してください。

メニューボタンの作成

チュートリアルプロジェクトでは、「Main Menu」と「Chapter Menu」にボタンが必要です。ホットスポットを定義し、強調表示のカラーを設定して、ボタンのコマンドリンクを定義することによって、ボタンは作成されます。「DVD Credits」メニューのボタンはPhotoshop ファイルから自動的にインポートされるので、強調表示のカラーとコマンドリンクセットのみが必要となります。

本節の構成は次のとおりです。

- 22 ページの「Main Menu にボタンを追加」
- 25 ページの「Chapter Menu にボタンを追加」
- 29 ページの「DVD Credits メニューのボタンの定義」
- 31 ページの「完成したボタンリンク」

Main Menu にボタンを追加

「Main Menu」にボタンを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Preview Window」を選択します。
- 2 ストーリーボード領域で「02_Main_Menu.mpv」トラックを選択すると、「Preview」ウィンドウに表示されます。
- 3 ボタンを作成する時に精度を高めたい場合には、「Preview」ウィンドウを拡大することができます。「Preview」ウィンドウのグレーの領域をマウスの右ボタンでクリックして「Allow Docking」の選択を解除し、必要に応じてウィンドウを移動したりサイズを変更します。
- 4 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「New Button Tool」(新規ボタンツール)を選択します。



- 5 「Play Movie」ボタンの周囲をドラッグして四角形で囲むことによってボタンのホットスポットを作成します。ホットスポット領域にテキストと三角形が完全に含まれているが、ボタン領域の下とオーバーラップしていないことを確認します。

最初に作成されるホットスポットはボタン 1 に対応し、メニューを最初に起動した時に選択状態になるデフォルトのボタンになります。

- 6 必要な場合には、作成後にホットスポットのサイズや位置を調整します。「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Selection Tool」(選択ツール)を選択します。



変更したいホットスポットをクリックしホットスポットの端をドラッグしてサイズを変更するか、ホットスポットの中央をドラッグして移動します。

- 7 前述の手順を繰り返して、残りのメニューボタンのホットスポットを作成します。

- 8 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Vertical Link Tool」(垂直リンクツール)を選択します。



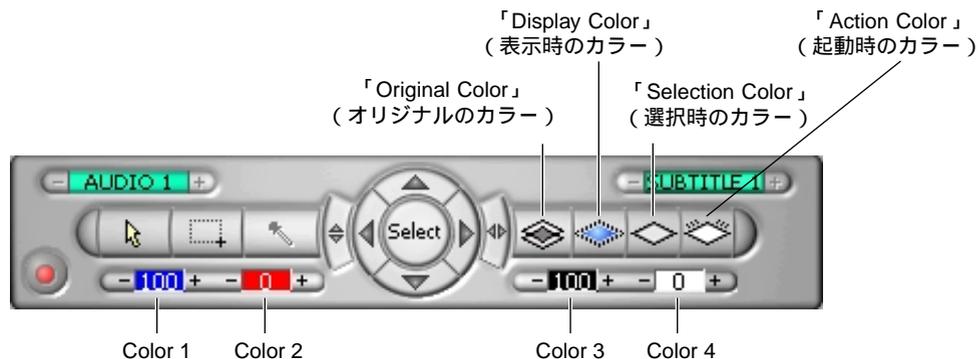
Vertical Link Tool (垂直リンクツール)

- 9 ホットスポット間をドラッグして、ボタンの垂直方向のナビゲーションを定義します。このリンクは、リモートコントロールの「UP」(上)矢印と「DOWN」(下)矢印を使用してナビゲートしたり選択する方法を決定します。
- 「Play Movie」のホットスポットから「Chapter Selection」ボタンにドラッグします。
 - 「Chapter Selection」のホットスポットから「Slide Show」ボタンにドラッグします。
 - 「Slide Show」のホットスポットから「DVD Credits」ボタンにドラッグします。
 - 「DVD Credits」のホットスポットから「Play Movie」ボタンにドラッグします。

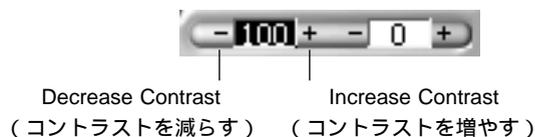
「Main Menu」にアクセスすると、「Play Movie」ボタン (Button 1) がデフォルトで強調表示されます。リモートコントロールの「DOWN」(下) 矢印をクリックすると、Button 1 の下にある次のボタンが強調表示されます。リモートコントロールの「UP」(上) 矢印をクリックすると、Button 1 の上にある前のボタンが強調表示されます。「DVD Credits」ボタンが強調表示される場合には、「DOWN」(下) 矢印をクリックすると「Play Movie」ボタンにループして戻り、このボタンが強調表示されます。

「Main Menu」ボタンの強調表示のカラーを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Display Color」ボタンを選択します。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットのデフォルトの強調表示のカラーを表示します。このカラーはボタンが選択されていない、および起動されていない状態の時に表示されます。



- 2 「Color 3」(「Preview」ウィンドウの下側にある左から3番目のカラー)のコントラスト値を0%に設定します。この値を調整するには、「Decrease Contrast」(コントラストを減らす)ボタン(-)を繰り返しクリックします。



コントラスト値が減ると、ホットスポット内のボタンの三角形の不透明度が減って最後には透明になります。

- 3 「Selection Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットの「Selection Color」を表示します。このカラーは選択された時に表示されます。
- 4 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「ライトグレー」を選択します。ボタンの三角形がライトグレーで表示されます。「Color 3」のコントラスト値を80%に設定します。
- 5 「Action Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンの強調表示の「Action Color」を表示します。このカラーはボタンが起動された時(リモートコントロールの「ENTER」(決定)キーを押す)に表示されます。

- 6 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから濃い赤色を選択します。ボタンの三角形が濃い赤色で表示されます。「Color 3」のコントラスト値を 60% に設定します。

「Main Menu」ボタンのコマンドを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 ストーリーボード領域で最初のボタンのCommandリンクを設定します。「Main Menu」の Command リンクの記号（アイコンの下側にある）を「04_Main_Movie.mpv」トラックにドラッグします。
- 2 「Select Chapter」ダイアログでボタンのリンク先のチャプタ(04_Main_Movie.mpv_ch.01)を選択します。
- 3 「Choose Command Button」ダイアログで、リンク先のチャプタにリンクするボタンのホットスポット（Play Movie）をクリックします。
- 4 前述の手順を繰り返して「Main Menu」から以下のトラックにボタンリンクを作成します。

03_Chapter_Menu.mpv
05_Slide_A.bmp
06_DVD_Credits.psd

- 5 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

メニューボタンに関する詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 6 章「アセットのインポートとオーサリング」を参照してください。

Chapter Menu にボタンを追加

「Chapter Menu」にボタンを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Preview Window」を選択します。
- 2 ストーリーボード領域で「03_Chapter_Menu.mpv」トラックを選択すると、「Preview」ウィンドウに表示されます。

- 3 ボタンを作成する時に精度を高めたい場合には、「Preview」ウィンドウを拡大することができます。「Preview」ウィンドウのグレーの領域をマウスの右ボタンでクリックして「Allow Docking」の選択を解除し、必要に応じてウィンドウを移動したりサイズを変更します。
- 4 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「New Button Tool」(新規ボタンツール)を選択します。



- 5 左の黒い四角形の上をドラッグして四角形で囲むことによってボタンのホットスポットを作成します。ホットスポット領域に黒い四角形が完全に含まれているが、右にあるボタンとオーバーラップしていないことを確認します。

最初に作成されるホットスポットは Button 1 に対応し、メニューを最初に起動した時に選択状態になるデフォルトのボタンになります。

- 6 必要な場合には、作成後にホットスポットのサイズや位置を調整します。「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Selection Tool」(選択ツール)を選択します。



変更したいホットスポットをクリックしホットスポットの端をドラッグしてサイズを変更するか、ホットスポットの中央をドラッグして移動します。

- 7 前述の手順を繰り返して、さらに2つの黒い四角形と「Back」ボタンのホットスポットを作成します。
- 8 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Horizontal Link Tool」(水平リンクツール)を選択します。



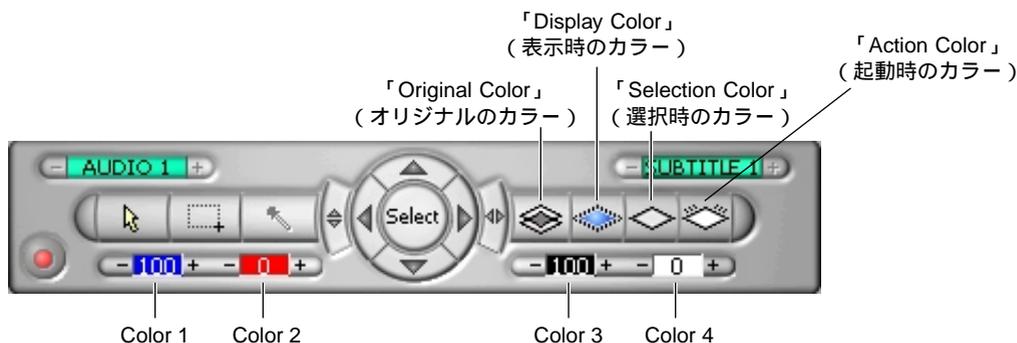
Horizontal Link Tool (水平リンクツール)

Vertical Link Tool (垂直リンクツール)

- 9 ホットスポット間をドラッグして、ボタンの水平方向のナビゲーションを定義します。このリンクは、リモートコントロールの「LEFT」(左)矢印と「RIGHT」(右)矢印を使用してナビゲートしたり選択する方法を決定します。
 - 左の四角形のホットスポットから中央の四角形のボタンにドラッグします。
 - 中央の四角形のホットスポットから右の四角形のボタンにドラッグします。
 - 右の四角形のホットスポットから左の四角形のボタンにドラッグします。
- 10 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Vertical Link Tool」(垂直リンクツール)を選択します。
- 11 ホットスポット間をドラッグして、ボタンの垂直方向のナビゲーションを定義します。このリンクは、リモートコントロールの「Up」(上)矢印と「Down」(下)矢印を使用してナビゲートしたり選択する方法を決定します。
 - 左の四角形のホットスポットから「Back」ボタンにドラッグします。
 - 「Back」ボタンのホットスポットから左の四角形のボタンにドラッグします。

「Chapter Menu」ボタンの強調表示のカラーを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Display Color」ボタンを選択します。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットのデフォルトの強調表示のカラーを表示します。このカラーはボタンが選択されていない、および起動されていない状態の時に表示されます。



- 2 「Color 3」(「Preview」ウィンドウの下側にある左から3番目のカラー)のコントラスト値を0%に設定します。この値を調整するには、「Decrease Contrast」(コントラストを減らす)ボタン(-)を繰り返しクリックします。



Decrease Contrast (コントラストを減らす) Increase Contrast (コントラストを増やす)

コントラスト値が減ると、ホットスポット内の3つのボタンの四角形の不透明度が減って最後には透明になります。

- 3 「Color 2」をクリックしてポップアップメニューのパレットから黒色を選択します。「Back」ボタンが黒色で表示されます。「Color 2」のコントラスト値を100%に設定します。
- 4 「Selection Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットの「Selection Color」を表示します。このカラーは選択された時に表示されます。
- 5 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「ライトグレー」を選択します。3つのボタンの四角形がライトグレーで表示されます。「Color 3」のコントラスト値を80%に設定します。
- 6 「Color 2」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「ライトグレー」を選択します。「Back」ボタンがライトグレーで表示されます。「Color 2」のコントラスト値を80%に設定します。
- 7 「Action Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンの強調表示の「Action Color」を表示します。このカラーはボタンが起動された時(リモートコントロールの「ENTER」(決定)キーを押す)に表示されます。
- 8 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「濃い赤色」を選択します。3つのボタンの四角形が濃い赤色で表示されます。「Color 3」のコントラスト値を60%に設定します。
- 9 「Color 2」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「濃い赤色」を選択します。「Back」ボタンが濃い赤色で表示されます。「Color 2」のコントラスト値を60%に設定します。

「Chapter Menu」ボタンのコマンドを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 ストーリーボード領域で最初のボタンの Command リンクを設定します。「Chapter Menu」の Command リンクの記号(アイコンの下側にある)を「04_Main_Movie.mpv」トラックにドラッグします。
- 2 「Select Chapter」ダイアログでボタンのリンク先のチャプタ(04_Main_Movie.mpv_ch.01)を選択します。
- 3 「Choose Command Button」ダイアログで、リンク先のチャプタにリンクする左の四角形のホットスポットをクリックします。
- 4 前述の手順を、中央の四角形および右の四角形のボタンのホットスポット(「04_Main_Movie.mpv_ch.02」と「04_Main_Movie.mpv_ch.03」にリンクする)、および「Back」ボタンのホットスポット(「02_Main_Menu.mpv」にリンクする)に繰り返します。
- 5 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

メニューボタンに関する詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第6章「アセットのインポートとオーサリング」を参照してください。

DVD Credits メニューのボタンの定義

「DVD Credits」メニューのボタンを定義するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Preview Window」を選択します。
- 2 ストーリーボード領域で「06_DVD_Credits.psd」トラックを選択すると、「Preview」ウィンドウに表示されます。
- 3 「Preview」ウィンドウのコントロールパネルで、「Display Color」ボタンを選択します。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットのデフォルトの強調表示のカラーを表示します。このカラーはボタンが選択されていない、および起動されていない状態の時に表示されます。

- 4 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「黒色」を選択します。「Back」ボタンが黒色で表示されます。「Color 3」のコントラスト値を 100% に設定します。
- 5 「Selection Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンのホットスポットの「Selection Color」を表示します。このカラーは選択された時に表示されます。
- 6 「Color 3」をクリックしてポップアップメニューのパレットから「ライトグレー」を選択します。「Back」ボタンがライトグレーで表示されます。「Color 3」のコントラスト値を 80% に設定します。
- 7 「Action Color」ボタンをクリックします。「Preview」ウィンドウはボタンの強調表示の「Action Color」を表示します。このカラーはボタンが起動された時(リモートコントロールの「ENTER」(決定)キーを押す)に表示されます。
- 8 Color 3 をクリックしてポップアップメニューのパレットから「濃い赤色」を選択します。「Back」ボタンが濃い赤色で表示されます。「Color 3」のコントラスト値を 60% に設定します。
- 9 ストーリーボード領域で「Back」ボタンの Command リンクを設定します。「DVD Credits」の Command リンクの記号(アイコンの下側にある)から「04_Main_Menu.mpv」トラックにドラッグします。
- 10 「Choose Command Button」ダイアログで、「Main Menu」にリンクする「Back」ボタンのホットスポットをクリックします。
- 11 「File」>「Save」を選択してプロジェクトを保存します。

メニューボタンに関する詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第 6 章「アセットのインポートとオーサリング」を参照してください。

完成したボタンリンク

チュートリアルプロジェクトのボタンリンクの定義が終了すると、ストーリーボード領域は図4のようになります。

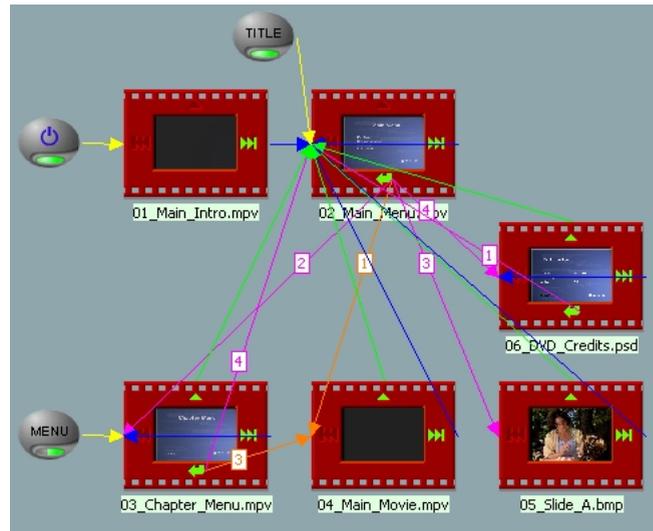


図 4: 完成したプロジェクトのオーサリング

これでプロジェクトをプルーフィングして、満足がいく場合には disc image を作成します。

4 テストと出力

本章は、ReelDVD チュートリアルプロジェクトのテストおよびディスクまたはテープに出力する方法を解説します。本章の構成は次のとおりです。

- 34 ページの「Simulation モードの使用」
- 35 ページの「disc image ファイルの書込み」
- 36 ページの「Sonic CinePlayer を使用してプロジェクトをテスト」
- 37 ページの「ディスクまたはテープにプロジェクトを書き込む」

Simulation モードの使用

「Simulation」モードでは、disc image の書込みを行う前に ReelDVD の「Preview」ウィンドウを使用してプロジェクトのナビゲーションを十分にテストできます。このシミュレーション機能は、DVD コンテンツを再生するためにシンプルなソフトウェアデコーダーを使用して、実際の DVD プレーヤーと同じように動作するように設計されています。ただし、ソフトウェアデコーダーであるため、再生のパフォーマンスはコンピュータの CPU 速度によって制限されます。再生の品質および同期を検証するには、Sonic CinePlayer などの DVD プレーヤーアプリケーションを使用してください（36 ページの「Sonic CinePlayer を使用してプロジェクトをテスト」を参照）。

「Simulation」モードでチュートリアルプロジェクトを確認するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Preview」ウィンドウが表示されていない場合には、「View」>「Preview Window」を選択します。
 - 2 最初から再生を表示するには、ストーリーボード領域で「Auto Play」アイコンを選択します。
 - 3 「Preview」ウィンドウで、シミュレーションモードのボタン（コントロールパネルの左下角にある）をクリックすると、緑色になります。
 - 4 「Play」（再生）をクリックします。「Main Intro」からプロジェクトの再生が開始します。
 - 5 「Preview」ウィンドウのこれらのコントロールを使用して、視聴者と同じようにプロジェクトを操作します。
- プランどおりにトラック間で再生がジャンプするかを確認します。
 - 「MENU」（メニュー）キーと「TITLE」（タイトル）キーをクリックして、正しいリンク先にリンクすることを確認します。
 - 「SKIP FORWARD」（スキップして進む）キー、「SKIP BACKWARD」（スキップして戻る）キー、「RETURN」（戻る）キーをクリックしてリンクを確認します。
 - 各メニューごとに、各ボタンに直感的にアクセスできること、「Display」「Selection」「Action」の各色が正しいことを確認します。
 - 各ボタンコマンドが正しいリンク先にジャンプすることを確認します。

- 動画メニューの場合には、再生を終了した後ループが先頭に戻ることを確認します。

プロジェクトでこれらのテストに問題がなければ、disc image を作成して Sonic CinePlayer でブルーフィングを実行します。「Simulation」モードの詳細は、『ReelDVD ユーザーガイド』の第7章「メニューとダイアログ」を参照してください。

disc image ファイルの書込み

Sonic CinePlayer などのソフトウェアアプリケーションでチュートリアルプロジェクトをブルーフィングしたい場合には、ハードディスクのディレクトリに disc image ファイルを書き込みます。これらのファイルを後で使用してディスクやテープに書き込みます。

Disc image ファイルを書き込むには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD チュートリアルプロジェクトを開いて、「Edit」>「Project Settings」を選択します。「Project Settings」ダイアログが開きます。
- 2 「Layout Settings」タブをクリックします。
- 3 「Disc image」の参照ボタンをクリックしてターゲットのディレクトリ（このディレクトリには作業ファイルと disc image が書き込まれる）を選択して「OK」をクリックします。ターゲットのディレクトリは、少なくとも 400 MB の空き容量があるハードディスク上の空きディレクトリである必要があります（実際のプロジェクトサイズの2倍）。
「Disc image」ディレクトリを指定すると、「DVD Video」ディレクトリおよび「Temporary Files」ディレクトリが自動的に設定されます。
- 4 DVD-Video の「Delete When Done」の選択を解除します。CinePlayer でプロジェクトをテストしたい場合には、これらのファイルが必要です。
- 5 「OK」をクリックして「Project Settings」ダイアログを閉じます。
- 6 「File」>「Make Disc」を選択します。「Make Disc」ウィンドウが開きます。
- 7 Step 1 で、「Create DVD Video Files」と「Create Disc Image File」の各オプションを選択します。「Leave the Write To Device」オプションの選択は解除したままにしておきます。

- 8 Step 2 では、フィールドの設定をデフォルト (「Project Settings」に基づいて) にしておきます。
- 9 「Start」をクリックします。「Information」ウィンドウが開いて、ビデオストリームが多重化される、DVD-Video ファイルが書き込まれる、disc image ファイルが書き込まれる時のステータスのメッセージを表示します。

Sonic CinePlayer を使用してプロジェクトをテスト

Sonic CinePlayer がインストールされている場合には、ディスクに書き込む前にハードディスクからコンパイルした disc image ファイルを再生することによって、チュートリアルプロジェクトをさらにテストすることができます。このプロセスは「エミュレーション」と呼ばれ、同期、サブタイトルのタイミング、再生のパフォーマンスのチェックに適しています。

Sonic CinePlayer でプロジェクトをエミュレートするには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD を使用して「Make Disc」ダイアログの「Create DVD Video Files」オプションを使用して、VIDEO_TS ディレクトリを作成します (35 ページの「disc image ファイルの書込み」を参照)。
- 2 Windows の「スタート」ボタンから「プログラム」>「Sonic」>「CinePlayer」>「CinePlayer」を選択します。Sonic CinePlayer が起動します。
- 3 「ビデオ」ウィンドウをマウスの右ボタンでクリックして、ポップアップメニューから「メディアを開く」>「ファイルを参照」を選択します。「メディアファイルを開く」ウィンドウが開きます。
- 4 ReelDVD で以前に作成したプロジェクトの VIDEO_TS フォルダを指定して開きます。VIDEO_TS.IFO ファイルを選択して「開く」をクリックします。ReelDVD チュートリアルプロジェクトが再生を開始します。
- 5 プレーヤーのコントロールを使用して、プロジェクトを操作したり以下のような項目をテストします。
 - オーディオとビデオの同期
 - サブタイトルのタイミング

- メニューの見栄えと反応
- 全体的な再生の画像の品質

Sonic CinePlayer はソフトウェアデコーダーであり、ReelDVD の「Simulation」モードよりもかなり高パフォーマンスを提供しますが、ご使用のコンピュータの CPU 速度によって制限されることに注意が必要です。

Sonic CinePlayer の使用に関する詳細は、ソフトウェアとともにインストールされたオンラインマニュアルを参照してください。

ディスクまたはテープにプロジェクトを書き込む

プロジェクトのナビゲーション、再生の品質、同期を十分にテストした場合、コンピュータで再生するために CD-R にプロジェクトを書き込む、コンピュータと民生用 DVD プレーヤーの両方で再生するために DVD-R に書き込む、または大量生産するために DLT テープに書き込む準備が整いました。

本節の構成は次のとおりです。

- 37 ページの「CD-R または DVD-R への書込み」
- 39 ページの「DLT テープへの書込み」

CD-R または DVD-R への書込み

民生用 DVD プレーヤーだけでなくコンピュータで再生するためにプロジェクトを数コピーだけ作成したい場合には、DVD-R メディアにプロジェクトを出力できます。コンピュータで再生するために CD-R にプロジェクトを出力することも可能です。

注：DVD プレーヤーは CD-R または DVD-R からの再生をサポートしていない場合があります。作成するディスクがプレーヤーに認識されない、またはビデオまたはオーディオが途切れて再生される場合には、CD-R または DVD-R のサポートについてプレーヤーのメーカーに問い合わせてください。

CD-R または DVD-R に書き込むには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD チュートリアルプロジェクトを開いて、「File」>「Make Disc」を選択します。「Make Disc」ウィンドウが開きます。
- 2 Step 1 で、「Create DVD Video Files」、「Create Disc Image File」および「Write to Device」の3つのすべてのオペレーションを選択します。

DVD-Video ファイルおよび disc image を以前に書き込んでおり（35 ページの「disc image ファイルの書込み」を参照）、プロジェクトにそれ以降に変更を行っていない場合には、「Create DVD Video Files」と「Create Disc Image」のオプションの選択を解除できます。ReelDVD は、既存の DVD Video ファイルを使用します。

- 3 「Target Device」リストから CD-R または DVD-R レコーダーを選択します。

ReelDVD は、さまざまな DVD レコーダーをサポートします。ご使用の機器がサポートされており、適切に接続されて電源が入っている場合には、ReelDVD は自動的に認識します。

- 4 ディスクに実際的に書き込まずに出力プロセスをテストしたい場合、「Simulate Write」オプションを選択します。
- 5 Step 2 で、「Disc Name and Target Directories」を設定します。

以前に「Layout Settings」を設定している（35 ページの「disc image ファイルの書込み」を参照）場合には、これらのオプションは自動的に設定されるので変更は不要です。

- 6 「Start」をクリックして開始し、プロンプトが表示されたら空のディスクを挿入します。

以下のレイアウトプロセスは、ご使用のコンピュータとレコーダーの速度によって異なりますが、コンパイルに約 5 分、ディスクの書込みに 10 分かかります。

出力プロセスが完了すると、ReelDVD はディスクの作成が成功したことをメッセージで表示します。ただし、プロセス中にエラーが発生すると、対応するエラーメッセージが「Information」ウィンドウに表示して、出力が失敗したことが示されます。

DLT テープへの書込み

ディスクを大量に作成したい場合には、通常 DLT テープに書き込んで DVD レプリケータに送って大量生産してもらいます。DLT テープは DVD コンテンツをレプリケータに納品するための標準的なフォーマットです。

DLT テープに出力するには、次の手順に従ってください。

- 1 ReelDVD チュートリアルプロジェクトを開いて、「File」>「Make Disc」を選択します。「Make Disc」ウィンドウが開きます。

- 2 Step 1 で、「Create DVD Video Files」、「Create Disc Image File」および「Write to Device」の3つのすべてのオペレーションを選択します。

DVD-Video ファイルおよび disc image を以前に書き込んでいて（35 ページの「disc image ファイルの書込み」を参照）、プロジェクトにそれ以降に変更を行っていない場合には、「Create DVD Video Files」と「Create Disc Image」のオプションの選択を解除できます。ReelDVD は、既存の DVD Video ファイルを使用します。

- 3 「Target Device」リストで DLT テープドライブを選択します。

ReelDVD は、さまざまな DVD レコーダーをサポートします。ご使用の機器がサポートされており、適切に接続されて電源が入っている場合には、ReelDVD は自動的に認識します。

- 4 ドライブに未使用の DLT Type III テープを挿入します。

ほとんどのレプリケータでは、Type III テープ（Type IIIxt または IV よりも）で納品する必要があります。具体的な DLT テープの要件については、レプリケータにご確認してください。

- 5 Step 2 で、「Disc Name and Target Directories」を設定します。

以前に「Layout Settings」を設定している（35 ページの「disc image ファイルの書込み」を参照）場合には、これらのオプションは自動的に設定されるので変更は不要です。

- 6 「Start」をクリックしてプロジェクトのコンパイルとテープへの書込みを開始します。

レイアウトプロセスは、ご使用のコンピュータの速度によって異なりますが、コンパイルに約5分、ディスクの書込みに10分かかります。プロセスが完了すると、レプリケータの納品する準備が整った「DDP 2.0 フォーマット」のDLTテープが作成されます。

まとめ

CD-R、DVD-R、またはDLTテープにプロジェクトを出力したら、チュートリアルは終了です。完成したディスクをレビューした後で、時間があればプロジェクトに戻って以下のような作業を行ってみてください。

- ReelDVDの内蔵サブタイトルエディタを使用して本編のビデオにサブタイトルを追加する。
- プロジェクトのフローを変更して、「Main Menu」が単にループするのではなくタイムアウトしたら本編にジャンプするように設定する。
- 異なる強調表示のカラーを試してみたり、メニューにユーザーオリジナルのサブピクチャを作成する。
- ReelDVDの多言語対応機能の理解を深めるために、サブタイトル言語やオーディオストリームを新たに追加する。